

平成28年度 公益財団法人 日本体操協会

第3回理事会議事録

1.日 時 平成29年3月12日（日） 13時00分～14時50分

2.場 所 渋谷フォーラム8 401会議室

3.出席者 <理事>

二木会長、塚原副会長、石崎副会長、具志堅副会長
渡辺専務理事、山本専務理事代行、遠藤常務理事、水鳥常務理事、
塚原千恵子常務理事、山崎常務理事、竹内常務理事、竹村常務理事、
荒木理事、長谷川理事、加納理事、田坂理事、村木理事

17名

<欠席>

張西常務理事、米田常務理事、福井理事

3名

<監事>

竹田監事

1名

<欠席>

監物監事

1名

4.議題

4. 1. 審議事項

- (1) 専務理事 平成29年度政策方針
- (2) 各強化本部 平成29年度強化方針と組織について
- (3) 事務局長 平成29年度JOC専任コーチについて
- (4) 審判委員会 平成29・30年度審判委員会組織について
- (5) 総務委員会 平成29・30年度総務委員会組織について
- (6) アスリート委員会 平成29・30年度アスリート委員会組織について
- (7) コーチ育成委員会 平成29・30年度コーチ育成委員会組織について
- (8) 総務委員会 各規程の改定について（7規程）

- (9) 専務理事 2019第34回世界トランポリン選手権大会日本開催
- (10) 専務理事 平成29年度予算(案)について
- (11) 専務理事 役員改選手続きについて

4. 2.報告事項

- (1) 総務委員会 規程改定(8規程)
 - (2) 事務局 平成29年度会議日程
- 席上配布資料: 役員改選手続きについて

5.二木会長挨拶

前回理事会以降のイベントとして、1/18(水)パレスホテル東京において、「文化功労者受賞・紫綬褒章受賞・国際体操連盟会長就任を祝う会」を開催し、約500名の参会者で盛会に終了した。さらに2/12(日)には、国際フォーラムにおいて、平成28年度「全国代表者連絡会議」を開催した。なお、当協会の役員および評議員の任期が今年6月の評議員会までとなり、役員改選にむけて、準備に入る予定。

2020東京オリンピックまで後3年、各強化本部は、当面の目標を世界選手権に照準をあわせて、所期の成果をあげて頂きたい。

6.権限審査

本日、理事会の出席者は17名であり、定款第7章第39条の定足数10名を超えているので本会議は合法的に成立していることを渡邊事務局長より報告した。

7.議長就任

定款第7章第38条の定めるところにより、二木会長が議長に就任した。

8.議事録署名人

議長は、議事録署名人として議長ならびに竹村常務理事の2名を指名し、議場に諮り、全員が賛同した。

なお、出席の竹田監事は定款第43条第2項の規定により、理事会議事録に記名押印することとなる。

9.審議事項

第1号議案 平成29年度政策方針

山本専務理事代行は、スローガン：“一意専心”とし、

2017年世界選手権の目標は次のとおり。

男子体操：個人総合・種目別金メダルを含む複数メダル獲得

女子体操：個人総合8位入賞、種目別メダル獲得

新体操：団体種目別メダル獲得、個人総合8位入賞

男子トランポリン：個人、シンクロ、団体メダル獲得

女子トランポリン：個人8位入賞、シンクロ、団体メダル獲得

次に一般体操、アクロ体操、男子新体操、指導における暴力、セクハラへの対策強化、2020東京オリンピックと地域活性化、むすびにつき内容を読み上げ、個別報告を行った。

議長は、山本専務理事代行の説明に対し、質問・意見の有無を確認し、議場に諮った。

特に意見はなく、第1号議案は原案通り、承認・可決された。

第2号議案 各強化本部平成29年度強化方針と組織について

水鳥、塚原千恵子、山崎本部長および山本専務理事代行より、説明があった。

【男子強化本部】

強化方針 ・総合力で勝つための強化

・東京五輪とその後を見据えた中長期的強化

組織：ナショナル強化部（水鳥）、U-21（原田）、U-18（田野辺）

U-15（水口）に区分分け。アドバイザースタッフ、総務担当

【女子強化本部】

強化方針 東京五輪で団体、個人総合・種目別メダル獲得

15点台の得点、6.0以上のD難度への挑戦

種目別の目標を設定した。

組織 ナショナル強化部、ジュニア強化部、強化コーチ

審判アドバイザー、総務担当

【新体操】

強化方針 団体競技 フェアリージャパンPOLAメンバー強化

続行及びジュニア選手の強化

個人競技 ターゲット選手の強化を続行、ジュニアの強化

組織 山崎強化本部長、村田由香里副本部長、秋山エリカ、曾我部
美佳、天野晴代、竹内美和子氏は継続、
吉岡紀子、山口留奈、清水花菜、三浦莉奈氏は新任。

【トランポリン】

強化方針 東京五輪 メダル獲得目標

レベルの底上げ、跳躍力の向上、基礎体力向上

勝負に対する競争力を磨き上げる。

ジュニア世代の強化選手オーディションを行う。

組織 中田大輔男子本部長、丸山章子女子本部長新任。

原田利夫、杉浦正隆、岡嶋正治、伊藤直木、福井卓也は継続。

所属コーチ、トレーナー 高山智美 総務 玉川久根継続

総務 久保実由 新任。

議長は、上記強化本部長の説明に対し、質問・意見の有無を確認し、議場に諮った。特に意見はなく、第2号議案は原案通り、承認・可決された。

第3号議案 平成29年度JOC専任コーチについて

渡邊事務局長は専任コーチについての説明を行った。

ナショナルコーチ 渡辺専務理事に代わり、山本宜史氏 新任。

アシスタントナショナルコーチは、塚原千恵子、山崎浩子氏継続。

専任コーチングディレクター トップアスリート担当の水鳥寿思、

塩山 勝、ビストロバ・インナ氏は継続。トランポリンの中田大輔新任、

ジュニアアスリート担当の北村彩子、クズミナ・ナタリアは継続。

体操男子の鹿島丈博、トランポリンの丸山章子氏が新任。NTCは

立花泰則、吉岡紀子氏は継続。トランポリンの久保実由新任。

5名が新任となった。その他専任メデイカルスタッフ、専任情報・科学スタッフについて、追加の可能性はある。(リオ終了後、日本スポーツ振興センターのマルチの見直しに関連)

議長は、渡邊事務局長の説明に対し、質問・意見の有無を確認し、議場に諮った。特に意見もなく、第3号議案は原案通り、承認・可決された。

第4号議案 平成29－30年度審判委員会組織について

竹内審判委員長より、下記の説明があった。

審判本部：奥主貞子（体操女子担当）、島田利夫（男子体操担当）、
辻 哲夫（総務担当）

男子体操審判本部 本部長 高橋孝徳、副本部長 近藤昌夫
本部員 倉島、三富、荒木、笠松、森
部員 千葉他12名
ブロックからは3月末に選出予定。

女子体操審判本部 本部長 大森智子、副本部長 野田みき子
本部員 阿部恵子、黒須真希、佐野吉見、佐原礼香
部員 白川氏他10名
ブロックからは3月末に選出予定。

新体操女子審判本部 本部長 橋爪みすず、副部長 村田愛子
本部員 寺田江身子、藤綱江津子、松永里絵子
栗原悠、佐藤なつみ、高橋麻理子
部員 鈴木あおい他5名、
ブロックからは3月末に選出予定。

トランポリン審判本部 本部長 武藤真也、副本部長 福井直哉、
神山和仁、平松朋法
本部員 大谷宏美、徳増知之、佐久間洋、
黒崎実、藤原ゆり子
ブロック担当 6名

議長は、竹内委員長の説明に対し、質問・意見の有無を確認し、議場に諮った。特に意見はなく、第4号議案は原案通り、承認・可決された。

第5号議案 平成29－30年度総務委員会組織について

遠藤総務委員長より、下記の説明があった。

総務委員会 委員長 遠藤幸一

委員 新井重信、中山孝人、佐藤道雄、葛西玲広、島祥世、
石田正人、磯前方章、山岸弘宜、鈴木幸光
専門アドバイザー Michael I. Chaplan、谷原 誠
全員 留任。（広報を除く）

議長は、遠藤委員長の説明に対し、質問・意見の有無を確認し、議場に諮った。特に意見もなく、第 5 号議案は原案通り、承認・可決された。

第 6 号議案 平成 29 年－30 年度アスリート委員会組織について

米田常務理事は本日、欠席のため、渡邊事務局長が代わりに説明を行った。

アスリート委員会 委員長 米田 功

委員 溝口絵里加、新竹優子、田中琴乃、上山容弘

岸 彩乃、植松鉦治、内村航平（新任）

伊藤正樹（新任）

新任 2 名、現役選手 4 名（上山、岸、内村、伊藤）。

議長は、渡邊事務局長の説明に対し、質問・意見の有無を確認し、議場に諮った。特に意見はなく、第 6 号議案は原案通り、承認・可決された。

第 7 号議案 平成 29 年－30 年度コーチ育成委員会組織について

佐久間委員長は本日、欠席のため、渡邊事務局長が代わりに説明を行った。

コーチ育成委員会 委員長 佐久間裕司

体操 副委員長・体操部長 笹田弥生

部員 秋田昌彦、伊藤清良（新）、明名亜希子、木下紘一郎

新体操 副委員長・新体操部長 亀井由美

部員 臼井、高橋、小林（新）、丹羽（新） 臼井俊、山田小太郎

トランポリン 副委員長・TR 部長 福井卓也、

部員 後藤、岸、稗田（新）、斉藤、中田、中島、海野、井上（新）

長澤、土居、河村

合計 26 名の陣容

議長は、渡邊事務局長の説明に対し、質問・意見の有無を確認し、議場に諮った。特に意見もなく、第 7 号議案は原案通り、承認・可決された。

第 8 号議案 各規程の改定について

遠藤総務委員長より、今回の改定の担当は、事務局なので、渡邊事務局長にその説明を依頼した。

① 特定資産等取扱規程

本件、公益財団法人に移行して、将来にわたり、特定資産計上の可能性を鑑み、今回、日本体育協会の事例を参考に新設したもの。

目的、定義、理事会承認手続き、区分、管理運用等 9 条での構成。

② コンプライアンス規程

③ 監事監査規程

②、③については、日本オリンピック委員会からのNF組織運営のフェアプレーガイドラインでの必須規程であり、JOCの担当部署のサポートを受けて、新設したものである。

専務理事を長とするコンプライアンス委員会の設置と年1回の開催義務付け等17条で構成。監事監査規程は18条構成。

④ 事務局規程(6章、16条)

職員の採用は職員服務規定に移した。また定款に規程の体操スクールを明記した。会長、専務理事、事務局長の先決事案を新設。

日本体育協会規程に準拠したもの。

⑤ 職員服務規程(12章52条)

職員の採用関係を事務局規定から本規程に新設。

セクハラ禁止、産前・産後休暇、育児介護休業法による休暇等

安全衛生および災害補償、相談窓口等世間の状況に対応したもの。

⑥ 職員給与規程(23条)

平成25年4月1日施行の労働契約法第18条の改正により、契約社員5年以上の職員から申請があると無期労働契約(正社員)に転換するというもの。当協会は13年間に亘り、契約社員として雇用してきた。今回、この機会に職員給与規程を全面的に改定するもので、ベースは日本体育協会、日本オリンピック委員会からサポートを受け、社会保険労務士事務所の協力により、規程の前面改定となったもの。

⑦ 出張旅費規程

旅費規程については、長らく、内容の見直しがされないままであった。特に大会における日当が、1,000円という時期が永く競技役員、審判員から、値上げの要請があった。今回、他のNFの実態を調査したところ、当協会は低い水準であった。そのため、日当1,000円から3,000円、宿泊費を10,000円から12,000円に増額。

宿泊費を10,000円から12,000円に増額改定するもの。

議長は、渡邊事務局長の説明に対し、質問・意見の有無を確認し、議場に諮った。

席上、竹田監事より、質問があり、監事監査規程の附則の表示が他の規程は平成なのに、監事規程が西暦表示(2017年)とのご指摘があった。渡邊事務局長より、平成に修正する旨の回答があった。

議長は、再度、質問の有無を議場に図った。特に意見はなく 8 号議案は承認可決された。

第 9 号議案 2019 第 34 回世界トランポリン競技選手権大会日本開催

山本専務理事代行より、説明があった。引き続き、渡邊事務局および渡辺専務理事より、補足説明が行われた。

開催時期 2019 年 11 月上旬～下旬(年齢別大会含む)

開催場所 未定

収支計画(案)

収入概算 300,000 千円 toto 助成等見込み

支出概算 300,000 千円 F I G 納入費用、開催費用

収支差額 0

本支出に伴う準備引当金を特定資産として 29 - 30 年度引当予定
2018 年に前橋市でのワールドカップ開催誘致も検討中

議長は、上記の説明に対し、質問・意見の有無を確認し、議場に諮った。特に意見もなく、第 9 号議案は原案通り、承認・可決された。

第 10 号議案 平成 29 年度予算(案)について

渡邊事務局長は、平成 29 年度予算(案)について、資料に則り説明を行った。収支は前年予算比 96% の 33,981 千円。

(金額単位：千円)

予算規模	平成 29 年度予算案	平成 28 年度予算
経常収益	1,214,566	1,150,857
経常費用	1,023,468	995,770
管理費	157,117	119,737
収 支	33,981	35,350

公益目的事業会計、収益事業会計、法人会計別の収支状況及び各本部、委員会別の予算内容の特徴等の説明があった。

今回予算の特徴

- ① 世界選手権放映権料の増額及びスポンサー収入の増額
- ② 戦略経費の新設、大会競技役員日当増額、事務局員の無期労働契約への転換

- ③ トランポリン世界選手権大会に向けての準備金引当(特定資産)
課題としては、登録料の減少、スポンサー収入の維持・拡大、
新会館移転への対応

議長は、渡邊事務局長の説明に対し、質問・意見の有無を確認し、
議場に諮った。

席上、渡辺専務理事より、発言があり、課題に記載した内容に広告
代理店の固有名詞が記載されているが、削除して欲しい旨の発言が
あった。これに対して、渡邊事務局長は了解し、今後留意するとの回答。

議長は、再度、意見・質問の有無を議場に諮った。特に意見はなく、
第10号議案は承認可決された。

第11号議案 役員改選手続きについて

渡辺専務理事は、次の説明を行った。

(1) 定款規定の確認

評議員の選任(第15条)：評議員選定委員会が選任する

評議員選定委員会の構成：

評議員1名、監事1名、事務局員1名、外部委員2名

評議員候補者は理事会、評議員会も推薦できる。

役員の選任(第28条)：理事及び監事の選任は評議員会の決議

(2) 「評議員選定委員会」の委員を選任するメンバー選任の提案

二木会長、塚原副会長、石崎副会長、具志堅副会長、
渡辺専務理事、山本専務理事代行、遠藤総務担当常務
竹田監事 以上8名

(3) 「評議員選定委員会」が「役員(理事・監事)候補者選定委員会」 を兼務することを提案。

(4) 今後の手順を提案

- ・4月 「評議員定委員会」委員の選任
- ・5月 理事会による「評議員選定委員会」委員の承認
- ・5月 「評議員選定委員会」を開催
- ・6月11日 理事会「評議員選定委員会」が新評議員案提案・承認

・ 6 月 25 日 評議員会 新役員案を提案・承認

議長は、以上の説明を受けて、質問・意見の有無を確認した。

- ① 5 月理事会による「評議員選定委員会」委員の選任については
常務理事会に一任したいとの意見が複数の理事より提案された。
- ② 地域から選出される評議員、理事、ブロック代表は、役職は重複せず
に地域出身役員に経験していただいたほうが良いのではないかと提案された。

議長は提案された①、②の提案の承認を含めて、再度、質問・意見の有無を議場に諮った。

特に意見もなく、第 11 議案は、追加された①、②の提案を含めて承認・可決された。

議長は以上を以って、審議事項を終了した旨、報告し、他の議題があるかを議場に諮った。特に提案議題がなかったため、報告事項に移った。

10.報告事項

第 1 号議案 規程改定

遠藤委員長より、下記規程を平成 29 年 3 月 3 日付けにて改定した旨の報告を行った。平成 29 年度登録準備のため

- ① 登録規程 トランポリン登録合併と登録料変更
- ② トランポリン登録規程 廃止
- ③ 国庫補助事業等公金の取扱いに関する規程
- ④ アンチドーピング規程 J A D A 指摘
- ⑤ トランポリン公認審判員規程 合併改定
- ⑥ 公認トランポリンシャトル競技審判員規程
- ⑦ トランポリン競技コーチ規程
- ⑧ トランポリン普及指導員規程

第 2 号議案 平成 29 年度会議日程

渡邊事務局長より、平成 29 年度の常務理事会、理事会、評議員会、理事・ブロック合同会議、地域・ブロック合同会議等の日程の報告を行った。

11..閉 会 議長は、すべての事項の終了を確認し、14時50分に閉会を宣言した。

平成29年3月12日

議事録署名人 二木 英徳

議事録署名人 竹村 英明

議事録署名人 竹田 幸夫